

美山特養ホームの 日常

美山特養ホーム・美山ユニット特養ホーム(以下、美山ホーム)は小高い丘の上に建ち、周囲を畑に囲まれ、遠くに海が見える、そんな環境の中にあります。

今回はそんな美山ホームの中で生活する利用者様の日常のお話しをさせていただきます。

こういった機関紙ですと、どうしても、こんなイベントをしています！レクリエーションをしています！といった記事を書いて、毎日がキラキラに溢れているような……そんな表現をしてしまいがちですが、ここで過ごす利用者様の日々はいたって平凡で普通です。

朝、障子を薄く照らし、徐々に明るくなっていく陽の光に目を覚まし、夜、暗くなり、眠たくなれば眠る。その日のお昼ご飯に自分の好きなサバの味噌煮が出たことにちよつとした幸せを感じたり、ショートステイやデイサービスに来たお友達に数年ぶりに出会えたことを喜んだり、リビングで同室の利用者様とおしゃべりをしたり、そのままウトウトと居眠りをしてしまったり……。

もちろん、私たちの生活にもイベントごとがあるように、時折、利用者様にもイベントが訪れます。それがお誕生日会であったり、ホームで提供される素敵なお食事であったり、季節折々

のレクリエーションであったりします。体操などの集団レクリエーションやイベントも施設内で定期的な企画されますが、その参加は自由です。参加せず、自分の趣味に専念される方もいますし、最近では通信端末とパソコンを持ち込んでゲームに没頭している方もいます。

私たち、施設職員の仕事は、そんな日々が変わらず続いていくように、しっかりと支えていくことにあります。

園庭に咲く桜を見て、「きれい」と喜ぶ利用者様の傍らで、施設職員が「来年もここでまた観ましょうね」と声をかけるこの短い言葉のやり取りに、私たちはそれを情緒的に感じてしまうのは、お年を召されたその方の来年が遠く感じ、桜の散る様に儚さを感じてしまうからではありません。その職員の言葉の裏側にある「だから長生きしてね」というメッセージをその方がしっかりと受け止め、心がかよった瞬間をそこに感じさせるからなのだと思えます。

私たちは、派手さはなくとも、こうしたエピソードや小さな幸せ、喜びを積み重ねていけるようお手伝いしています。

美山ホームの利用者様の日常はともとても平凡で私たちが変わらざる普通のものです。



生活相談員 藤本



養護 高橋 伸夫 (87歳)

はじめまして、令和4年3月より入居した、高橋伸夫と申します。

出身は宮城県で、漁業が盛んな町で生まれました。昭和25年頃から三浦市で生活し、まぐろ漁船に乗り20年近く働き、浦賀の造船所でも働いていました。

趣味はカラオケで歌うのが好きです。皆様、これからも宜しく願います。



特養A棟 進藤キヨシ (87歳)

皆様こんにちは進藤キヨシです。私は昭和9年新潟県糸魚川市で生まれました。

好きなことは音楽を聴くことや歌をうたうことです。特に「水川きよし」は大好きです。偶然にも名前が同じで更に好感がもてます。

是非水川きよしファンの方がいたらお喋りができたらいいなと思えます。よろしくお願います。



特養A棟 本橋 勝治 (71歳)

皆様こんにちは。令和4年3月22日より特養A棟3階に入居した本橋勝治と申します。

私は昭和26年横浜の戸部で生まれました。

若い頃は大手広告会社に勤め、局長まで上り詰めました。会社では、北京マラソンや上海マラソンなどの主催をしており、私もイベントや営業活動で携わっていました。

その後52歳で早期退職し、個人で起業した経験もあります。更に60歳までは株式会社栄和建物でランドマークの所長を務め、運行管理の資格を取り、シティアクセスに勤務、特養での勤務経験や事務仕事の経験があるなど、様々な分野に精通。とにかく働きづめで大変でしたが楽しく、良い経験ばかりでした。今では自分の部屋でパソコンを開き、趣味である麻雀やネットサーフィンを楽しんでいます。これからよろしくお願いたします。



養護 カスティール・ブリット・アラン (67歳)

はじめまして、令和4年4月より入居した、カスティール・ブリット・アランと申します。

出身はアメリカ合衆国テネシー州で、来日して30年程経ちます。